

鴨生田小だより

校長 山本 良祐(文責)

【鴨生田小学校 めざす子ども像】

- ①じっくり考える子ども・・・[確かな知性]
- ②思いやりのある子ども・・・[豊かな情操]
- ③がんばりぬく子ども・・・[たくましい実践力]
- ④心身ともに健やかな子ども・・・[健康で安全な生活]

“教室に 梅雨の暗さを 持ち込まず” 稲村汀子

珍しく梅雨の晴れ間が広がっていますが、梅雨明けには今しばらくの我慢を強いられそうです。各家庭でのお子様の様子はいかがでしょうか？学校でも休み時間に外に出ることができない子どもたちは、エネルギーを持って余しているように感じます。怪我のないように過ごして欲しいと願っています。

さて、明日からは7月に入ります。1学期の締めくくりの月でもあります。子どもたちは、夏休みが待ち遠しいようですが、1学期の学習内容の定着をはからないといけません。それぞれの家庭で、家庭学習はできていますか？宿題が精一杯という家庭も多いのではないのでしょうか？まず、学習の基礎基本をしっかりと身につけさせるためにも、その日に習ったこと(特に、漢字や計算)は宿題だけでなく、

自主的に復習をしておきたいものです。保護者の皆様は「勉強しなさい！」とだけ子どもに伝えてはいませんか？

子どもたちは「勉強しなさい」だけでは、何をやってよいのかわからない子どもも多くいます。具体的に、「計算ドリルの〇〇ページを」とか、「今度習った漢字を5回ずつ書きなさい」と指示を出していただけるとよいと思います。

最初は、面倒くさがってやらないと思いますが、少しの量から始めて、学習の習慣をつけることが大切です。低学年のうちから学習習慣を身につけておかないと、困るのはお子さんです。

雨の日には“まずゲーム”ではなく“まず漢字、まず計算、まず読書”を実行してください。



【水泳学習を行っています】

今、学校では梅雨の合間をぬって水泳学習を行っています。学年によって実施できた回数にばらつきはありますが、どの学年も元気いっぱい泳いでいます。また、1年生にとっては、初めて体験する学校の大きなプールです。最初は顔を付けるところからやっていますが、長い時間つけることにはまだまだ抵抗があるようです。1年生に限らず、他の学年でもうまく顔を付けられないお子さんもいます。力を抜いて浮くことを怖がるお子さんもいます。

学校での水泳は、泳力をつけるだけでなく、水難事故を防ぐ意味もあります。水に落ちたときに、浮くことができるかできないかが生死を分けることにもなります。家庭で市民プールや海などに行かれるときには、そのことを意識して、顔を付けて、ブカリと浮かぶことができるように練習させてください。



プール開き(6年生児童による宣誓)



6年生による泳ぎ初め



1年生 初めての水泳学習

【サマータイム実施中】

学校だよりや各学年からお知らせしていますように、本日からサマータイムを実施しています。職員だけでなく子どもたちの中にも「サマータイム」を意識している子どもが多く、その反響に少し驚いています。1学期に実験的に行って、問題がなければ、2,3学期にも同様の形で実施する予定です。

通常よりも25分下校時刻を繰り上げています。時間の感覚が慣れるまでは戸惑うかもしれませんが、終業式の前日まで実施いたします。ご家庭にはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。